

2 R 及び分別・リサイクル活動優良事業所 取組内容情報提供シート

<取組内容>

(記入日 令和2年10月6日)

事業所名	ホテル日航プリンセス京都		認定番号	R 0 2 0 2 0 1 3
所在地	〒600-8096 京都市下京区烏丸高辻東入 高橋町630番地			
取組内容	リデュース (発生抑制)	・最新鋭「生ごみ処理機」を導入、生ゴミ廃棄量が大幅削減（73.6%削減を達成） ・電子メール、電子決裁、デジタルサイネージ等の導入により、ペーパーレス化促進 ・全館の照明を、蛍光灯・白熱球からLEDに交換（交換率約90%）廃蛍光管排出抑制 ・「使いきり乾電池」から充電式電池（Panasonic EVOLTA）に交換、廃乾電池排出抑制		
	リユース (再使用)	・お客様、従業員の不用傘は、廃棄せず「善意の傘」として貸出用に活用（使用の都度、アルコール消毒を実施） ・レストラン等で使用したリユース瓶は、100%回収し業者引取りへ ・使用済みコピー用紙等は、裏面利用		
	リサイクル (再資源化)	・上記「生ごみ処理機」では処理できない魚の骨、パイナップル芯、ロブスターの殻等はこれまで業者により焼却処理せざるを得なかったが、「バイオガス発電施設」でエネルギーリサイクルす処理に変更。これにより事業活動で発生する生ごみの焼却処分ゼロを達成 ・廃棄物集積場において、計量器を導入し100%計量、記録 ・廃棄物集積場において、分別方法を「見える化」し、分別の徹底を図る ・ペットボトルの蓋は、100%回収し「エコキャップ運動」協力 ・厨房から出る廃油は、100%回収し業者が引取り、バイオディーゼル燃料に ・レストラン、宴会場、厨房等から出る割箸、牛乳パックは、業者回収により再生紙に ・使用済みインクカートリッジは、業者が引取り再資源化 ・敷地内植栽の剪定枝は、業者回収により再資源化		
	その他	・京都市の表彰・認定制度を活用すべく取組んだ結果、平成30年度には「2R及び分別・リサイクル優良事業所認定」「2R特別優良事業所認定」「産廃処理・3R等優良事業場」の3認定を同時取得、これは市内の旅館・ホテルでは初 ・令和元年度には、「京都環境賞 特別賞（企業活動賞）」を受賞 ・今後さらに環境保護活動に取り組むことで、既得の認定の更新や、新たな表彰受賞を目指す		
取組紹介 web ページ	http://			

取組写真 情報提供シート

取組①

(写真)



(説明)

「生ゴミ処理機」導入（リデュース）

- ・当ホテルでは、平成29年2月に生ゴミ処理機を導入。
- ・生ゴミを微生物により分解処理するタイプで、CO2 発生のない地球環境に配慮した最新鋭のもの
- ・これまでレストランや宴会場の厨房から出る生ゴミを廃棄物として処分していたものを、本処理機導入により、73.6%削減に成功（平成30年3月実績）
- ・経費節減にも大きな効果
- ・毎月開催される会議で、処理機導入による効果を全社で情報共有、ごみ分別徹底の重要性を社員に認識させることに繋がった。
- ・厨房勤務の従業員が、毎週輪番制で処理機内部の清掃に従事。導入当初は処理不能な異物（金属製スプーン等）の混入も散見されたが、現在ではほぼ無くなり、従業員の意識改革が図れた。

取組②

(写真)



(説明)

「徹底分別による廃棄物排出量の抑制と資源有効活用」 「バイオガス発電施設でエネルギーリサイクル」 (リサイクル)

- ・ホテル内の廃棄物集積場に持ち込むゴミは、各部署の持込者（従業員）が責任を持って計量・分別する。
- ・精密計量器を設置し、廃棄物を10g単位で計量し、記録表に記入する体制が確立しており、電子Manifestの正確な入力が可能となった。
- ・廃棄物集積場に、具体的な品目（114種類）を網羅した「廃棄物分別表」を掲出し「見える化」に努めている。
- ・専従の廃棄物担当者を指名、廃棄物集積場にほぼ常駐し持込者の分別を指導している。
- ・「生ごみ処理機」で処理できない魚の骨等の固い物は、業者により焼却処理していたが、「バイオガス発電施設」でエネルギーとしてリサイクルすることに変更、生ごみの焼却処分ゼロをも達成した。

取組③

(写真)



(説明)

「京都市の表彰・認定制度の積極的活用」（その他）

- ・平成30年度には、市内宿泊施設で初となる京都市環境3認定（「2R及び分別・リサイクル優良事業所認定」「2R特別優良事業所認定」「産廃処理・3R等優良事業場」）を同時取得
- ・さらに令和元年度には「京都環境賞 特別賞（企業活動賞）」を受賞
- ・全社一丸となって環境保護活動に取り組む当ホテルにとって、大きな励みとなった。